

# 2023年度 第2四半期 決算説明会

2023年11月7日

**ブラザー工業株式会社**

**常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2023年度 第2四半期（7月-9月）実績

売上収益は、為替のプラス影響により前年同期並み。事業セグメント利益は、主にP&S事業における消耗品の売上増や価格対応の効果により、大幅な増益

## ◆ 売上収益 1,992億円/+1.2%（前年同期比）

- ✓ 為替が円安に推移したことによるプラス影響により、前年同期並みとなる
- ✓ 為替影響を除くと、マシナリー事業の中国における市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減などにより、減収となる

## ◆ 事業セグメント利益 176億円/+57.7%（前年同期比）

- ✓ 販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における消耗品の売上増や価格対応の効果、物流コストの減少に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となる

## 2023年度 通期業績予想

売上収益は、為替のプラス影響を反映したものの、マシナリー事業などの中国市況低迷の影響を受け、下方修正。

利益は、全社では前回予想を据え置く。事業セグメント別の内訳は変更

## 2023年度 第2四半期決算

売上収益は、為替のプラス影響により前年同期並みとなりました。

事業セグメント利益は、主にP&S事業における消耗品の売上増や価格対応の効果により、大幅な増益となりました。

## 売上収益

前年同期比 1.2%増の **1,992億円**となりました。

マシナリー事業の中国における市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減があったものの、為替が円安に推移したことによるプラス影響により、前年同期並みとなりました。

## 事業セグメント利益

前年同期比 57.7%増の **176億円**となりました。

販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における消耗品の売上増や価格対応の効果、物流コストの減少に加え、為替のプラス影響もあり、大幅な増益となりました。

## 2023年度 通期業績予想

売上収益は、為替のプラス影響を反映したものの、マシナリー事業などの中国市況低迷の影響を受け、下方修正します。

利益については、全社では前回予想を据え置きますが、事業セグメント別の内訳は変更します。

## 2023年度 第2四半期（7月-9月）業績

売上収益は、為替のプラス影響により前年同期並みとなる。  
 事業セグメント利益は、主にP&S事業における消耗品の売上増や  
 価格対応の効果により、大幅な増益となる

単位：億円

	22Q2	23Q2	増減 ( )は為替影響 除く増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	1,969	<b>1,992</b>	23 (▲76)	1.2% (▲3.8%)
事業セグメント利益	111	<b>176</b>	64 (36)	57.7% (32.4%)
事業セグメント利益率	5.7%	<b>8.8%</b>		
その他の収益・費用	13	<b>1</b>	▲12	
営業利益	124	<b>177</b>	53	42.2%
営業利益率	6.3%	<b>8.9%</b>		
税引前利益	129	<b>183</b>	54	42.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	129	<b>127</b>	▲2	▲1.6%
USD	138.68	<b>145.44</b>	6.76	
EUR	140.32	<b>157.70</b>	17.38	

2023年度 第2四半期の売上収益は、  
 前年同期比 23 億円増となる **1,992 億円** となりました。

利益面は、  
 事業セグメント利益は、 64 億円増の **176 億円**  
 営業利益は、 53 億円増の **177 億円** となりました。  
 親会社当期利益は、会計上の税負担率の差により、2 億円減の **127 億円** となりました。

# 2023年度第2四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

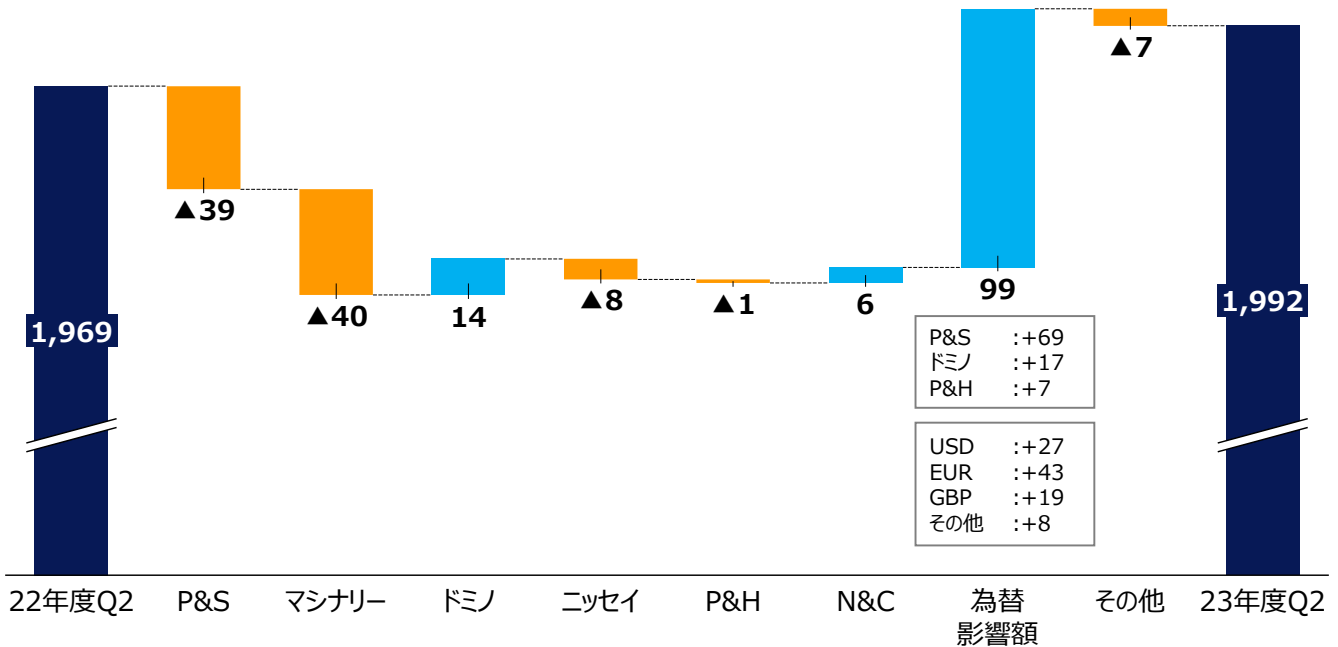
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	22Q2	23Q2	増減	22Q2	23Q2	増減	22Q2	23Q2	増減
P&S	1,187	1,216	30	51	143	92	54	140	86
マシナリー	240	204	▲36	32	9	▲23	34	9	▲25
ドミノ	251	283	31	13	17	4	18	18	0
ニッセイ	59	52	▲7	6	1	▲5	6	0	▲6
P&H	116	122	6	7	2	▲5	8	2	▲6
N&C	85	91	6	1	4	4	2	5	3
その他	31	24	▲7	2	0	▲2	2	3	0
<b>合計</b>	<b>1,969</b>	<b>1,992</b>	<b>23</b>	<b>111</b>	<b>176</b>	<b>64</b>	<b>124</b>	<b>177</b>	<b>53</b>

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

マシンリー事業の中国における市況低迷の影響や、P&S事業の製品本体の販売減などにより減収となるものの、為替のプラス影響により前年同期並みとなる

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2023年度 第2四半期の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器は、消耗品の販売が堅調に推移したものの、製品本体の販売が減少しました。ラベリングは、供給制約があった前年と比較して製品本体が堅調に推移したものの、P&S事業全体では減収となりました。

・マシンリー

産業機器、工業用マシンともに市況悪化の影響を受け、減収となりました。

・ドミノ

C&M・DPともに、消耗品が堅調に推移し、増収となりました。

・ニッセイ

市況悪化による設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

米国を中心に市況が悪化したことにより、減収となりました。

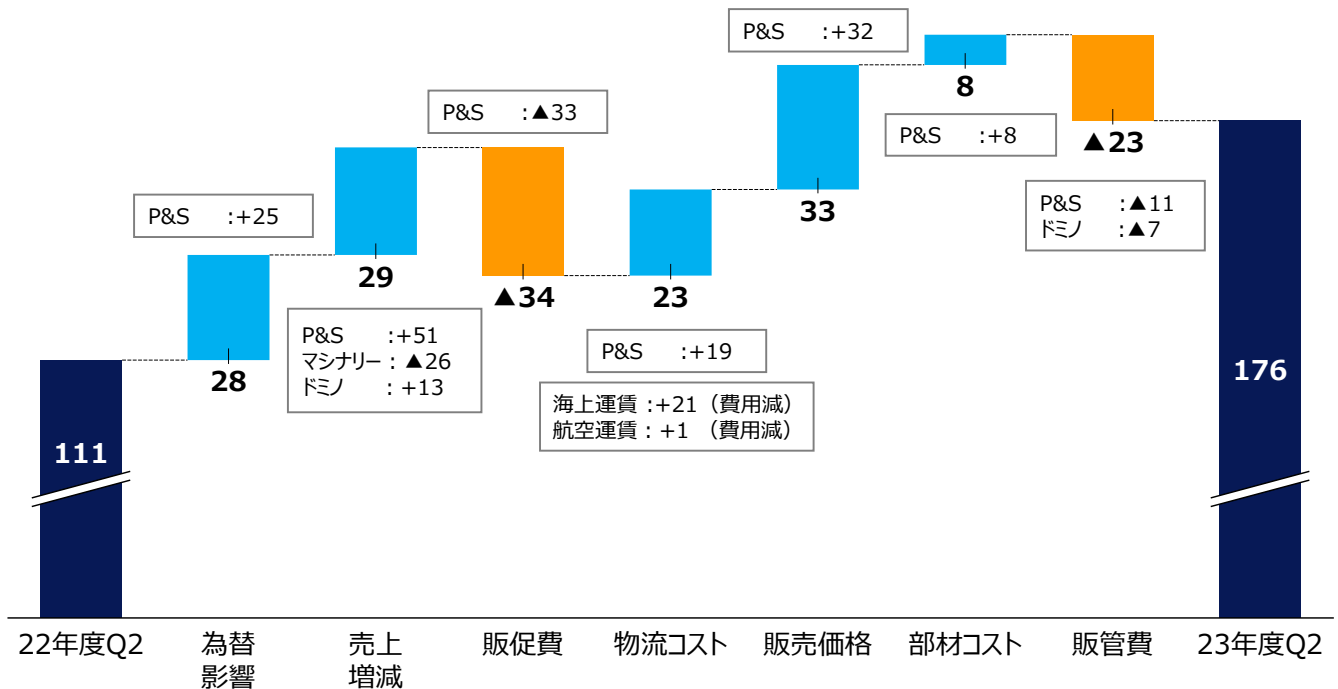
・N&C

新型コロナウイルス感染症の5類移行にともないカラオケ店舗への客足が回復し、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 99 億円が加わり、  
全社では 23 億円増となる **1,992 億円** となりました。

販促費・販管費の増加や、マシナリー事業の減収影響があったものの、P&S事業における消耗品の売上増や価格対応の効果、物流コストの減少に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となる

単位：億円



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

事業セグメント利益の増減要因です。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

マシナリー事業における産業機器・工業用マシンの販売減少の影響を受けたものの、P&S事業における消耗品の売上増などが寄与しました。

・販促費

P&S事業において、各社の供給制約の解消にともない競争環境が戻ったことから、増加しました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことにより、減少しました。

・販売価格

P&S事業において、価格対応の効果により、平均単価が上がりました。

・販管費

営業活動の強化などにより、増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 64億円増の **176** 億円となりました。

## 2023年度 上期（4月-9月）累計業績



為替のプラス影響により、売上収益は前年同期並み、  
事業セグメント利益は増益

単位：億円

	22年度 上期実績	23年度 上期実績	増減 ( ) は為替影響 除く増減	増減率 ( ) は為替影響 除く増減率
売上収益	3,967	<b>3,996</b>	30 (▲155)	0.7% (▲3.9%)
事業セグメント利益	359	<b>407</b>	48 (5)	13.3% (1.5%)
事業セグメント利益率	9.1%	<b>10.2%</b>		
その他の収益・費用	15	<b>▲10</b>	▲25	
営業利益	375	<b>397</b>	23	6.0%
営業利益率	9.4%	<b>9.9%</b>		
税引前利益	382	<b>410</b>	28	7.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	303	<b>289</b>	▲14	▲4.5%
USD	133.46	<b>141.31</b>	7.85	
EUR	138.79	<b>153.51</b>	14.72	

2023年度上期の売上収益は、  
前年同期比 30 億円増となる **3,996** 億円となりました。

利益面は、  
事業セグメント利益は、 48 億円増の **407** 億円  
営業利益は、 23 億円増の **397** 億円 となりました。  
親会社当期利益は、会計上の税負担率の差により、14 億円減の **289** 億円 となりました。

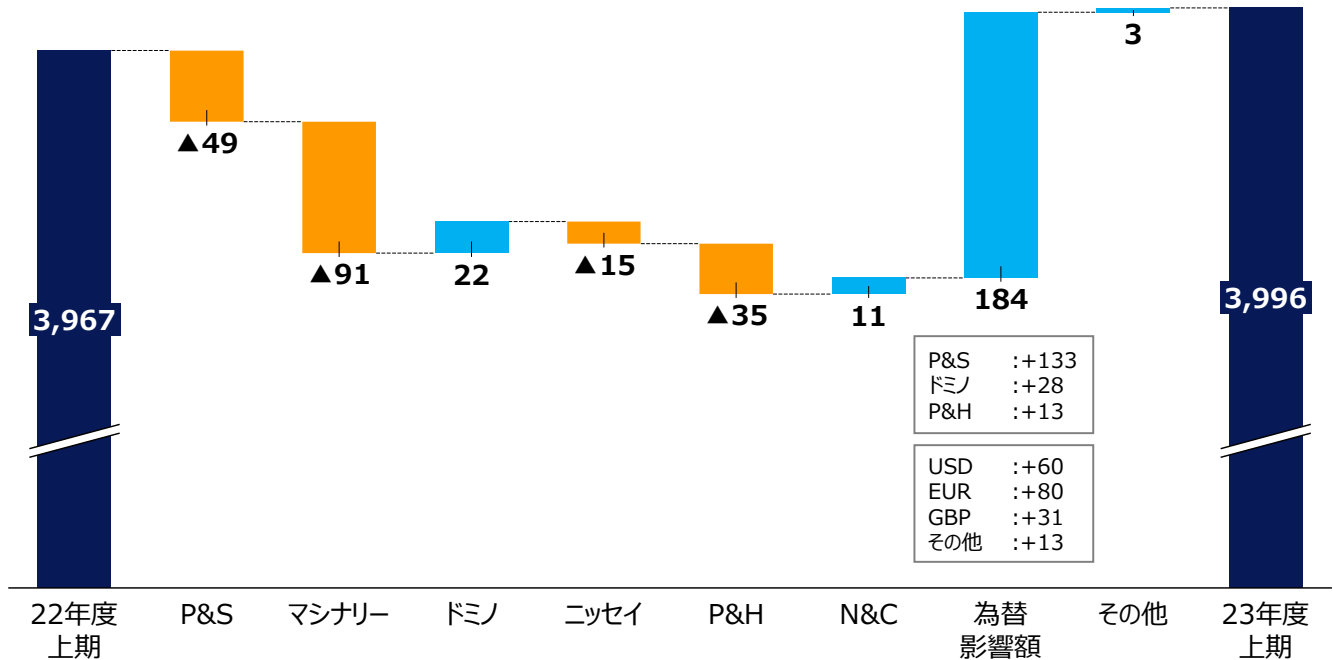
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	22年度 上期	23年度 上期	増減	22年度 上期	23年度 上期	増減	22年度 上期	23年度 上期	増減
P&S	2,405	2,488	83	230	336	106	224	320	96
マシナリー	474	392	▲82	53	19	▲34	58	21	▲38
ドミノ	489	539	50	30	38	8	37	36	▲2
ニッセイ	119	105	▲14	12	6	▲6	13	5	▲7
P&H	258	237	▲22	27	▲4	▲31	28	▲4	▲32
N&C	169	181	11	4	10	6	9	11	2
その他	52	55	3	5	3	▲1	5	9	3
合計	3,967	3,996	30	359	407	48	375	397	23

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

マシナリー事業の中国における市況低迷に加え、P&S事業の製品本体の販売減や、P&H事業の市況悪化の影響を受けたものの、為替のプラス影響により前年同期並み

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2023年度上期の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器は、消耗品の販売は堅調に推移したものの、製品本体の販売が減少しました。ラベリングは、供給制約があった前年同期と比較して製品本体が堅調に推移したものの、P&S事業全体では減収となりました。

・マシナリー

産業機器、工業用マシンともに市況悪化の影響を受け、減収となりました。

・ドミノ

C&M・DPともに、消耗品が堅調に推移し、増収となりました。

・ニッセイ

市況悪化による設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

各地域における市況の悪化により、減収となりました。

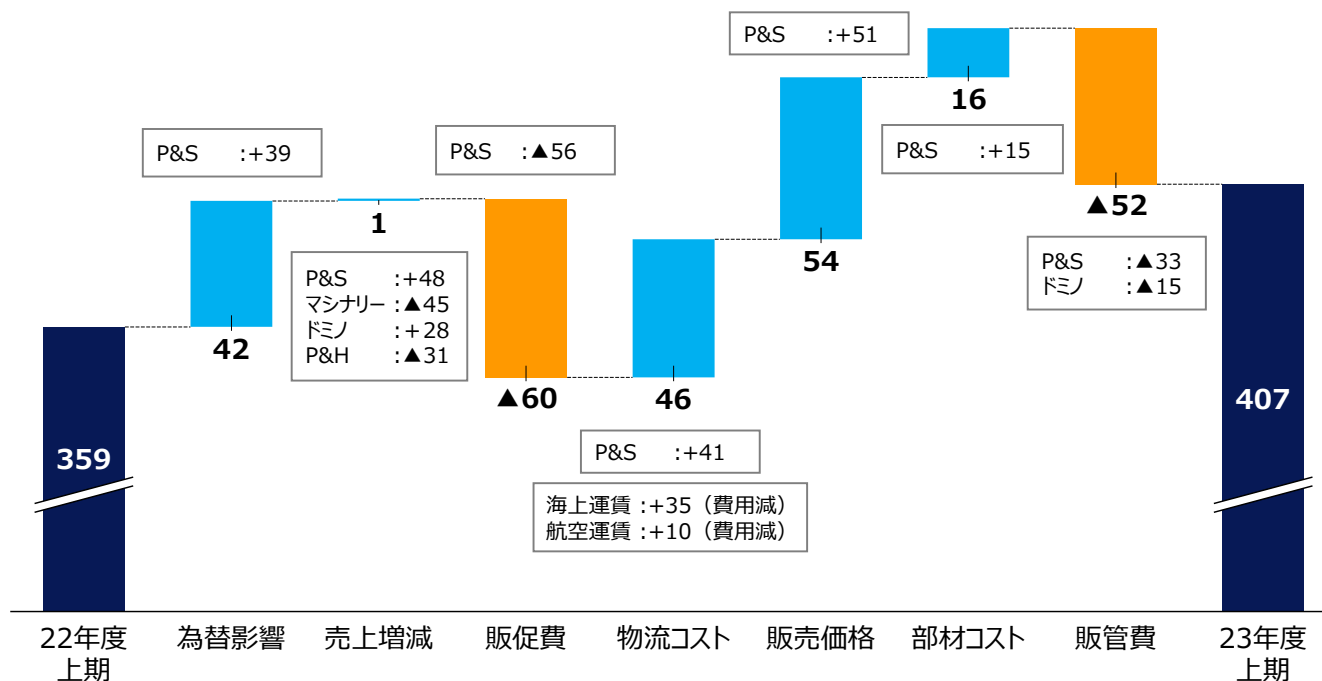
・N&C

新型コロナウイルス感染症の5類移行にともないカラオケ店舗への客足が回復し、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 184 億円が加わり、全社では 30 億円増の **3,996 億円**となりました。

販促費・販管費が増加したものの、主にP&S事業における価格対応の効果や物流コストの減少に、為替のプラス影響なども加わり、増益となる

単位：億円



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

事業セグメント利益の増減要因です。主要素についてコメントします。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

マシナリー事業、P&H事業における減収の影響を受けたものの、P&S事業における消耗品の売上増や、ドミノ事業の製品ミックスの変化などが寄与しました。

・販促費

主にP&S事業において、各社の供給制約の解消にともない競争環境が戻ったことから、増加しました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことなどにより、減少しました。

・販売価格

主にP&S事業によるものです。価格対応の効果により、平均単価が上がりました。

・部材コスト

主にP&S事業において、コストダウンの効果がありました。

・販管費

営業活動の強化などにより、増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 48 億円増の **407** 億円となりました。

## 2023年度 通期業績予想

売上収益は、為替のプラス影響を反映したものの、  
マシナリー事業などの中国市況低迷の長期化を受け、下方修正。  
利益は、全社では前回予想を据え置く。事業セグメント別の内訳は変更

単位：億円

	前回予想	今回予想	増減 ( ) は為替影響 除く増減	増減率 ( ) は為替影響 除く増減率	22年度 実績	増減 ( ) は為替影響 除く増減	増減率 ( ) は為替影響 除く増減率
売上収益	8,400	<b>8,200</b>	▲200 (▲526)	▲2.4% (▲6.3%)	8,153	47 (▲290)	0.6% (▲3.6%)
事業セグメント利益	700	<b>700</b>	0 (▲65)	0.0% (▲9.3%)	604	96 (33)	15.9% (5.5%)
事業セグメント利益率	8.3%	<b>8.5%</b>			7.4%		
その他の収益・費用	0	<b>0</b>	0		▲50	50	
営業利益	700	<b>700</b>	0	0.0%	554	146	26.4%
営業利益率	8.3%	<b>8.5%</b>			6.8%		
税引前利益	700	<b>700</b>	0	0.0%	570	130	22.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	500	<b>500</b>	0	0.0%	391	109	27.9%
USD	135.00	<b>143.37</b>	8.37		134.95	8.42	
EUR	140.00	<b>152.51</b>	12.51		141.24	11.27	

●予想部分の為替レート：1 USD = 145円、1 EUR = 150円

© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

14

通期の業績予想についてです。

業績予想の前提となる予想部分の為替レートを、足元の状況を踏まえ、  
1 USD = 135円から145円へ、1 EUR = 140円から150円へとそれぞれ変更しました。

売上収益は、為替のプラス影響を反映したものの、マシナリー事業などの中国における市況低迷の影響が想定以上に長期化していることから、2023年5月8日に公表した前回予想から 200億円減の **8,200** 億円に引き下げます。

利益については、全社では変更ありませんが、事業セグメント別の内訳は変更しています。  
為替のプラス影響を織り込んだことに加え、主に、マシナリー事業を下方修正、P&S事業を上方修正しています。

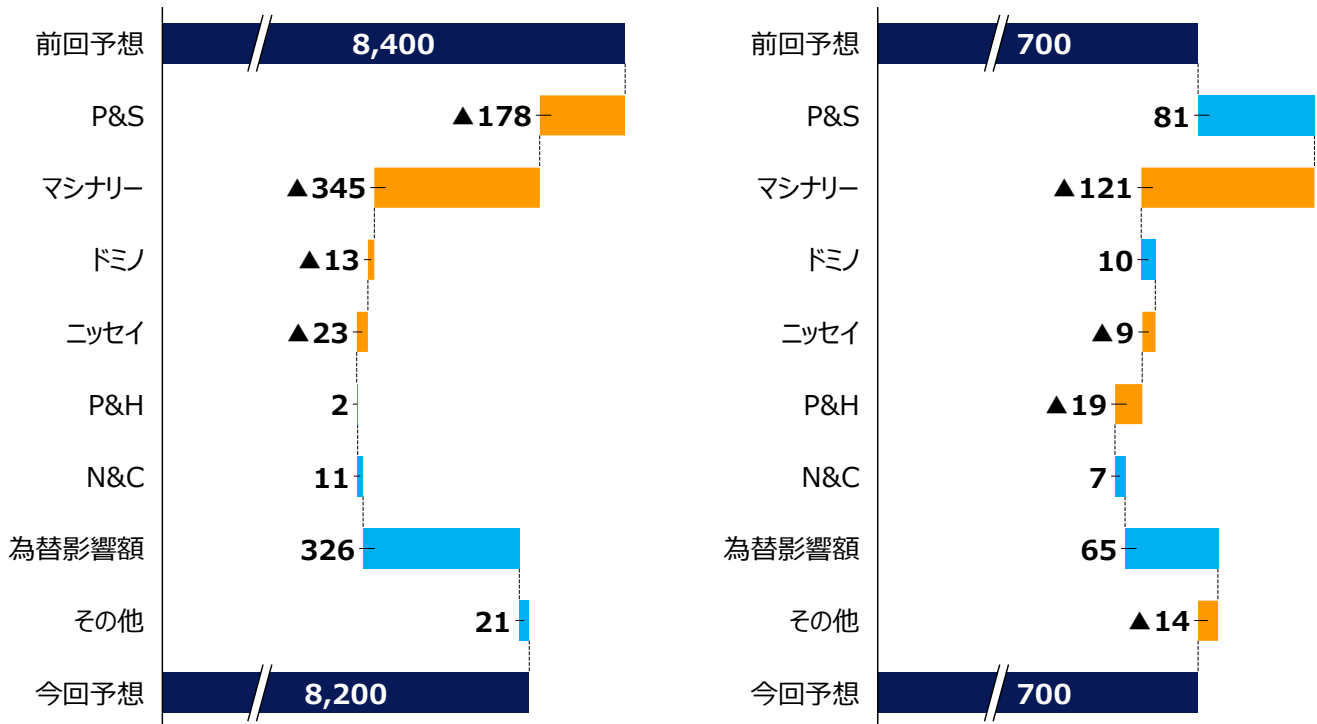
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
P&S	4,970	5,025	55	415	547	132	415	531	116
マシナリー	1,156	828	▲328	148	35	▲113	148	37	▲111
ドミノ	1,058	1,091	33	45	56	11	45	55	10
ニッセイ	242	222	▲20	21	12	▲9	21	13	▲8
P&H	511	540	29	44	30	▲14	44	30	▲14
N&C	375	386	11	9	16	7	9	16	7
その他	88	108	21	18	4	▲14	18	18	0
<b>合計</b>	<b>8,400</b>	<b>8,200</b>	<b>▲200</b>	<b>700</b>	<b>700</b>	<b>0</b>	<b>700</b>	<b>700</b>	<b>0</b>

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績予想の一覧です。

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2023年度の売上収益・事業セグメント利益の前回予想からの主な修正要因です。

・P&S

売上収益は、製品本体の販売減少を反映し、下方修正するものの、事業セグメント利益は、主に上期の上振れ分を加味し、上方修正。

・マシナリー

産業機器、工業用マシンともに上期の下振れ分の反映と下期の見通しを引き下げ、売上収益、事業セグメント利益ともに大幅な下方修正。

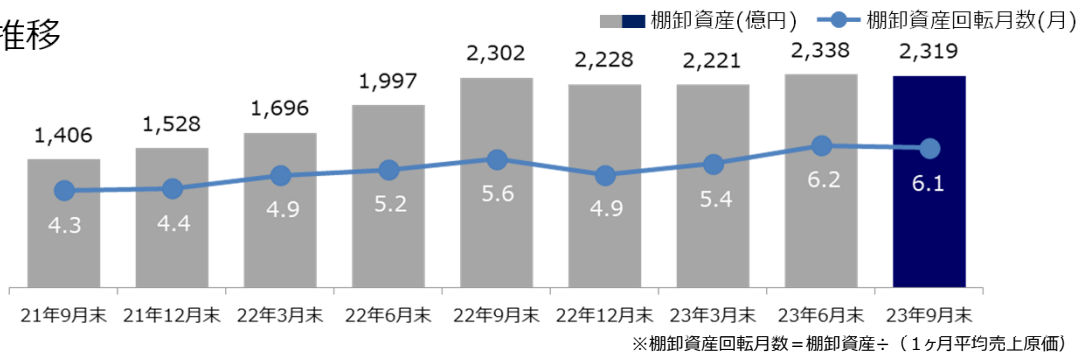
これらに、為替のプラス影響を織り込み、  
 全社では売上収益の見通しを引き下げるものの、事業セグメント利益は据え置きます。



	23年3月末	23年9月末	増減
流動資産	5,117	<b>5,118</b>	1
現預金	1,190	<b>1,154</b>	▲37
棚卸資産	2,221	<b>2,319</b>	98
非流動資産	3,387	<b>3,645</b>	258
負債合計	2,538	<b>2,147</b>	▲391
有利子負債	374	<b>6</b>	▲368
株主資本	5,966	<b>6,615</b>	649
総資産	8,505	<b>8,763</b>	258

	23年3月末	23年9月末	増減
ネット・キャッシュ	816	<b>1,148</b>	332
株主資本比率	70.2%	<b>75.5%</b>	5.3
ROE	6.8%	-	-

棚卸資産推移

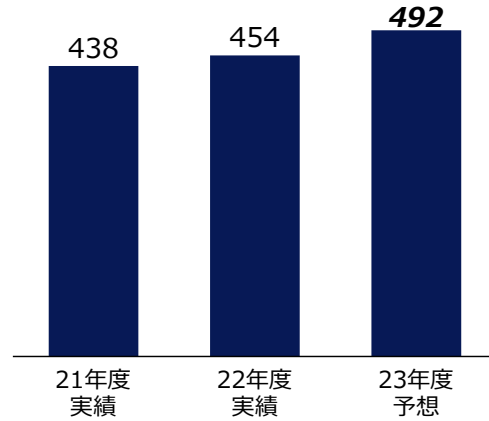
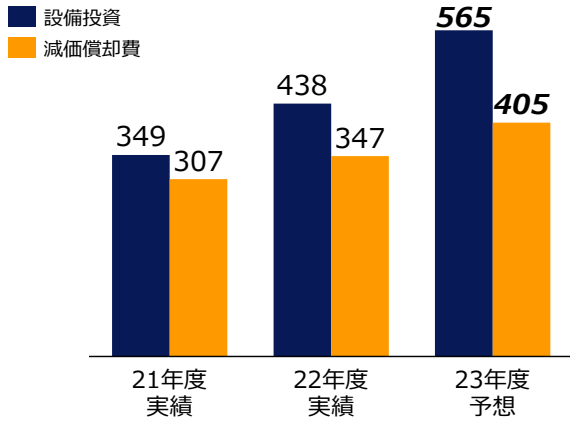


ネットキャッシュは、1,148億円となりました。

資産・負債・資本、すべてにおいて為替が円安に推移したことにより膨らんでいます。  
 棚卸資産・棚卸資産回転月数についても高止まりしていますが、  
 需要に合わせた生産調整を引き続き行っており、為替影響を除くと、いずれも減少しています。  
 ただ、依然として、P&S事業を中心に在庫水準が高い状態にありますので、引き続き適正化に努めていきます。

設備投資・減価償却費

研究開発費



設備投資内訳

	21年度	22年度	23年度
産業用領域	68	82	122
民生用領域他	281	356	443
計	349	438	565

研究開発費内訳

	21年度	22年度	23年度
産業用領域	103	123	134
民生用領域他	335	331	358
計	438	454	492

\*産業用領域は、マシンリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

2023年度の設備投資、減価償却費、研究開発費については、前回公表時からの変更はありません。中期戦略「CS B2024」で掲げた、未来に向けた先行投資を引き続き実施していきます。

## 株主還元

2023年度の中間配当は、1株当たり34円とする。  
年間の配当予想は変更なし

**【基本方針】 安定的かつ継続的な株主還元の実施**

- 1株あたり年間**68円**の配当を下限
- 業績の状況等に応じて配当水準の引き上げを含めた追加的な株主還元を検討、加えて、自己株式の取得については機動的に実施

	中間配当	期末配当	年間配当
2021年度	30円	34円	64円
2022年度	34円	34円	68円
2023年度	34円	34円（予定）	68円（予定）

株主還元についてです。

2023年度の中間配当は、1株当たり **34** 円とします。  
年間の配当予想については、変更ありません。

## セグメント業績概要

# プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

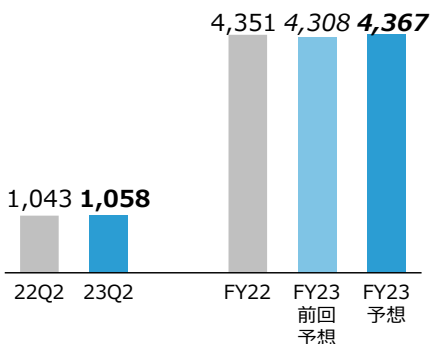


単位：億円

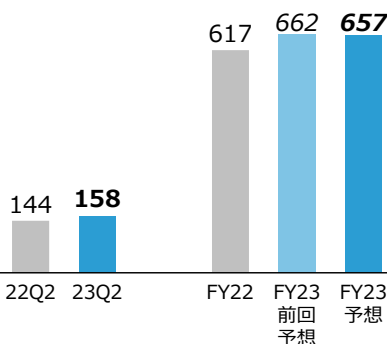
	22Q2	23Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>1,187</b>	<b>1,216</b>	<b>2.5%</b>	<b>-3.3%</b>	<b>4,967</b>	<b>4,970</b>	<b>5,025</b>	<b>1.2%</b>	<b>-3.6%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>1,043</b>	<b>1,058</b>	<b>1.4%</b>	<b>-4.3%</b>	<b>4,351</b>	<b>4,308</b>	<b>4,367</b>	<b>0.4%</b>	<b>-4.4%</b>
米州	392	450	14.7%	10.3%	1,688	1,695	1,726	2.3%	-2.2%
欧州	295	310	5.2%	-6.8%	1,351	1,308	1,366	1.1%	-6.5%
アジア他	240	207	-13.6%	-16.1%	847	856	848	0.1%	-2.6%
日本（OEMを含む）	116	90	-22.2%	-23.3%	464	449	428	-7.9%	-9.3%
<b>ラベリング</b>	<b>144</b>	<b>158</b>	<b>10.2%</b>	<b>4.1%</b>	<b>617</b>	<b>662</b>	<b>657</b>	<b>6.6%</b>	<b>1.7%</b>
米州	65	75	15.1%	10.9%	286	309	296	3.7%	-0.8%
欧州	39	47	22.8%	8.8%	186	193	208	11.5%	3.4%
アジア他	30	25	-16.5%	-18.4%	98	103	104	5.8%	3.5%
日本	10	11	9.4%	9.4%	46	56	49	6.2%	6.2%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>51</b>	<b>143</b>	<b>181.3%</b>	-	<b>371</b>	<b>415</b>	<b>547</b>	<b>47.5%</b>	-
<b>営業利益</b>	<b>54</b>	<b>140</b>	<b>157.5%</b>	-	<b>365</b>	<b>415</b>	<b>531</b>	<b>45.7%</b>	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

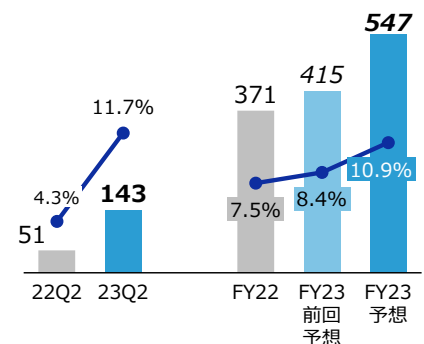


ラベリング



<事業セグメント利益>

● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

22

P&S事業の第2四半期の売上収益は **1,216** 億円。  
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス3.3%となりました。

## ・通信・プリンティング機器

売上収益は **1,058** 億円。

現地通貨ベースでの伸び率は、主に中国における市況悪化の影響を受けマイナス4.3%となったものの、為替のプラス影響により、増収となりました。

詳細は次のページでご説明します。

## ・ラベリング

売上収益は **158** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、

部材不足による供給制約の影響を受けた前年同期と比較し、製品本体の販売が増加し、プラス4.1%となりました。

事業セグメント利益は、**143**億円。

販促費・販管費が増加したものの、

消耗品の売上増や価格対応の効果、物流コストの減少に、為替のプラス影響も加わり、大幅な増益となりました。

	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	21通期	22通期
<b>レーザー (LBP)</b>														
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>														
本体	-10%	-4%	-9%	-8%	41%	45%	42%	36%	4%	-17%	-	-	-8%	41%
消耗品	21%	15%	14%	16%	18%	-8%	0%	4%	3%	15%	-	-	16%	3%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>														
本体	-16%	-9%	-15%	-13%	25%	23%	21%	23%	-1%	-21%	-	-	-13%	23%
消耗品	12%	9%	6%	9%	7%	-20%	-13%	-6%	-3%	7%	-	-	9%	-8%
<b>インクジェット (IJP)</b>														
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>														
本体	90%	95%	17%	15%	18%	32%	46%	39%	5%	3%	-	-	45%	33%
消耗品	11%	-6%	-3%	2%	19%	-2%	8%	13%	15%	16%	-	-	0%	9%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>														
本体	79%	87%	11%	10%	8%	16%	30%	27%	2%	-2%	-	-	38%	20%
消耗品	5%	-10%	-7%	-2%	11%	-12%	-2%	4%	9%	9%	-	-	-4%	0%
<b>消耗品比率</b>	56%	57%	58%	59%	53%	47%	49%	53%	54%	53%	-	-	57%	51%
<b>販売台数伸び率 (前年比)</b>														
レーザー (LBP)	-28%	-16%	-20%	-16%	14%	9%	3%	8%	-1%	-21%	-	-	-20%	8%
インクジェット (IJP)	65%	101%	1%	7%	8%	16%	42%	43%	4%	0%	-	-	34%	26%

© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

23

第2四半期における主要製品の売上伸び率についてです。(現地通貨ベース/前年同期比)

レーザー (LBP) の売上伸び率は、本体は マイナス21%、消耗品はプラス 7%、  
インクジェット (IJP) の売上伸び率は、本体は マイナス 2%、消耗品は プラス9%となりました。

**[製品本体]**

レーザーについては、中国での販売が大きく落ち込んだことに加え、  
ほぼすべての地域で販売が減少しました。

インクジェットについては、中国を除く新興国でのタンクモデルの販売は伸長したものの、  
それ以外の地域では減少しました。

**[消耗品]**

販売が落ち込んだ前年同期と比較して堅調に推移しました。

# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

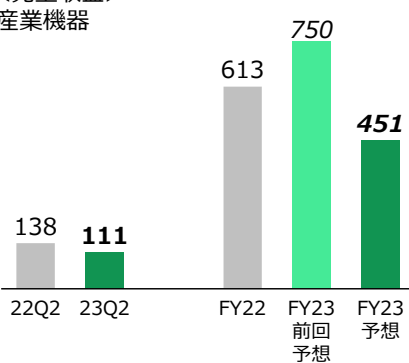
brother  
at your side

単位：億円

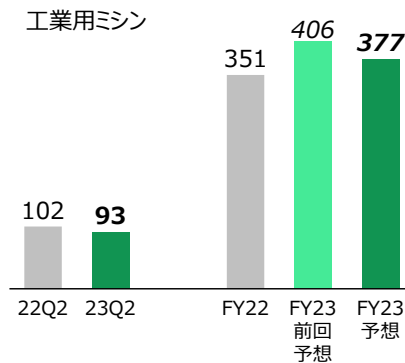
	22Q2	23Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>240</b>	<b>204</b>	<b>-15.0%</b>	<b>-16.8%</b>	<b>964</b>	<b>1,156</b>	<b>828</b>	<b>-14.1%</b>	<b>-16.2%</b>
<b>産業機器</b>	<b>138</b>	<b>111</b>	<b>-20.0%</b>	<b>-20.0%</b>	<b>613</b>	<b>750</b>	<b>451</b>	<b>-26.4%</b>	<b>-26.8%</b>
米州	5	9	66.5%	-	41	38	35	-14.2%	-
欧州	6	7	32.5%	-	38	42	36	-4.7%	-
アジア他	107	55	-48.6%	-	432	534	254	-41.2%	-
日本	21	39	91.5%	-	103	137	126	23.2%	-
<b>工業用ミシン</b>	<b>102</b>	<b>93</b>	<b>-8.0%</b>	<b>-12.5%</b>	<b>351</b>	<b>406</b>	<b>377</b>	<b>7.4%</b>	<b>2.2%</b>
米州	27	36	32.3%	26.7%	105	121	125	18.8%	13.1%
欧州	19	19	-2.6%	-13.8%	74	85	86	16.4%	7.9%
アジア他	51	33	-34.5%	-36.2%	155	178	146	-5.6%	-9.3%
日本	4	6	27.3%	27.3%	17	22	20	15.7%	15.7%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>32</b>	<b>9</b>	<b>-71.0%</b>	<b>-</b>	<b>95</b>	<b>148</b>	<b>35</b>	<b>-63.3%</b>	<b>-</b>
<b>営業利益</b>	<b>34</b>	<b>9</b>	<b>-73.5%</b>	<b>-</b>	<b>98</b>	<b>148</b>	<b>37</b>	<b>-62.4%</b>	<b>-</b>

## <売上収益>

### 産業機器

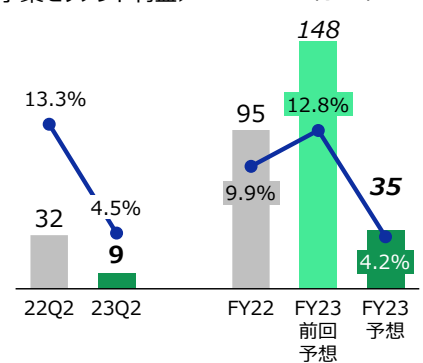


### 工業用ミシン



## <事業セグメント利益>

● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

24

マシナリー事業の第2四半期の売上収益は **204** 億円。  
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス16.8%となりました。

### ・産業機器

売上収益は、**111** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス 20.0%となりました。  
中国の市況悪化にともない自動車・一般機械市場向けの設備投資需要が低迷し、大幅な減収となりました。

### ・工業用ミシン

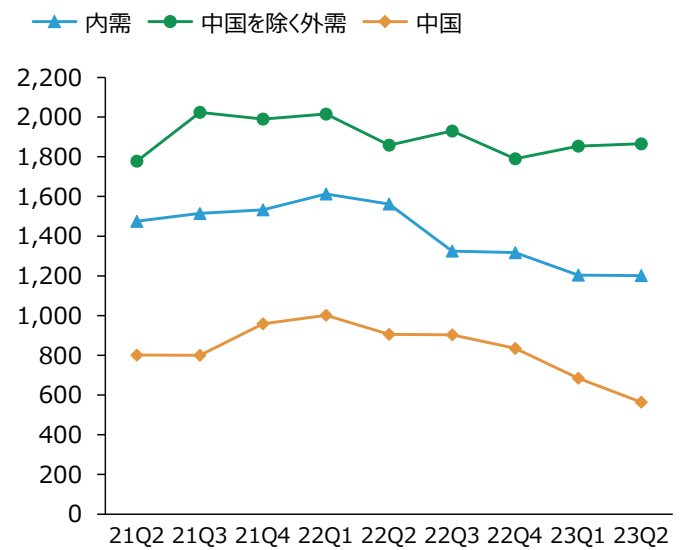
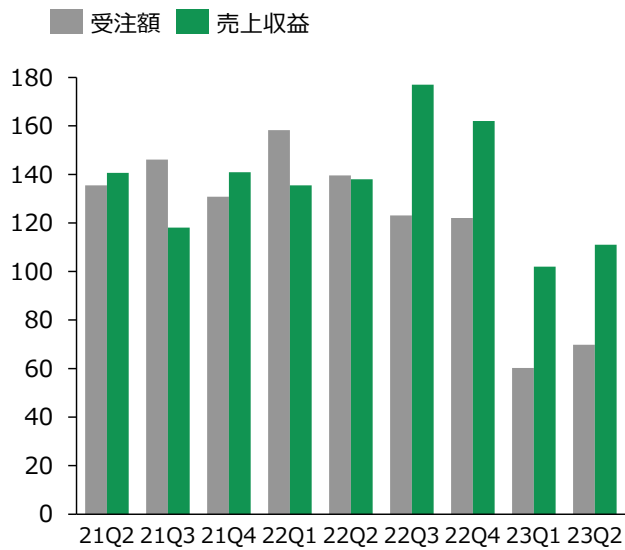
売上収益は、**93** 億円、現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス12.5%となりました。  
工業用ミシンについては、アジアのアパレル向け設備投資需要が引き続き低調に推移し、  
堅調だった前年同期と比較し、販売が大幅に減少しました。  
ガーメントプリンターについては、主に米州での販売が増加しました。  
工業用ミシン全体では、為替のプラス影響があったものの、減収となりました。

事業セグメント利益は、**9** 億円。  
減収により、大幅な減益となりました。



受注額・売上収益の推移

（参考）日工会受注統計



※国内・海外の製品本体の受注額合計  
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

四半期ごとの売上収益と受注額です。  
受注額は、国内受注と海外受注を合わせた製品本体受注の合計額です。

受注額については、中国の市況低迷の影響を受け、2023年度第1四半期で底を打ったものの、第2四半期においても低い水準にとどまっています。

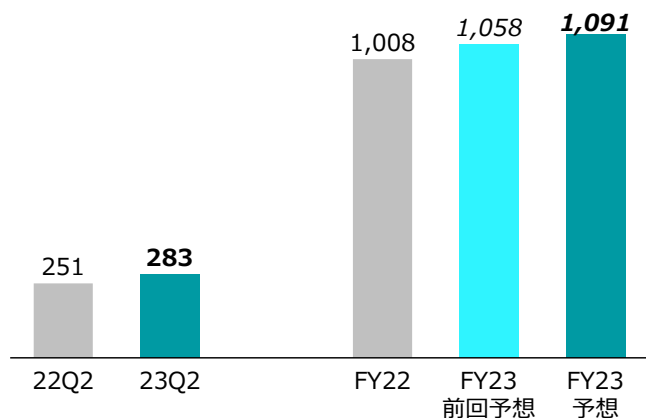
# ドミノ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

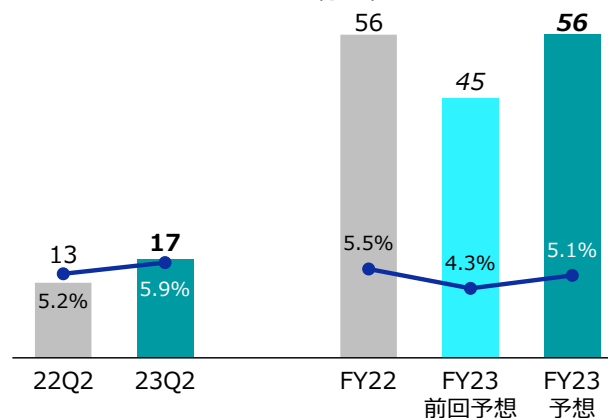
単位：億円

	22Q2	23Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>251</b>	<b>283</b>	<b>12.4%</b>	<b>5.5%</b>	<b>1,008</b>	<b>1,058</b>	<b>1,091</b>	<b>8.2%</b>	<b>3.1%</b>
米州	57	70	22.5%	5.9%	243	271	275	13.3%	0.3%
欧州	111	122	10.0%	4.9%	437	437	471	7.9%	3.4%
アジア他	72	81	12.6%	9.5%	288	306	306	6.5%	6.6%
日本	11	10	-15.5%	-15.5%	41	43	39	-6.4%	-6.4%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>13</b>	<b>17</b>	<b>27.4%</b>	-	<b>56</b>	<b>45</b>	<b>56</b>	<b>0.5%</b>	-
<b>営業利益</b>	<b>18</b>	<b>18</b>	<b>2.8%</b>	-	<b>-58</b>	<b>45</b>	<b>55</b>	-	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

26

ドミノ事業の第2四半期の売上収益は **283** 億円。  
現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 5.5%となりました。

製品本体は、C&Mが堅調に推移しました。  
消耗品についてはC&M・DPともに引き続き堅調に推移しています。

事業セグメント利益は、**17**億円。  
営業活動の強化や基幹業務システムの刷新にともない販管費が増加したものの、  
増収効果や製品ミックスの変化などにより、大幅な増益となりました。

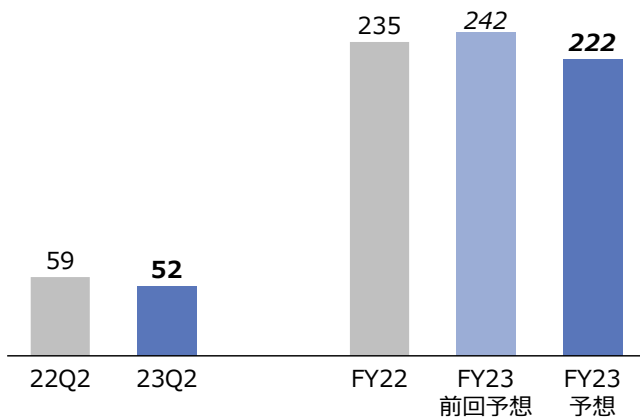
# ニッセイ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

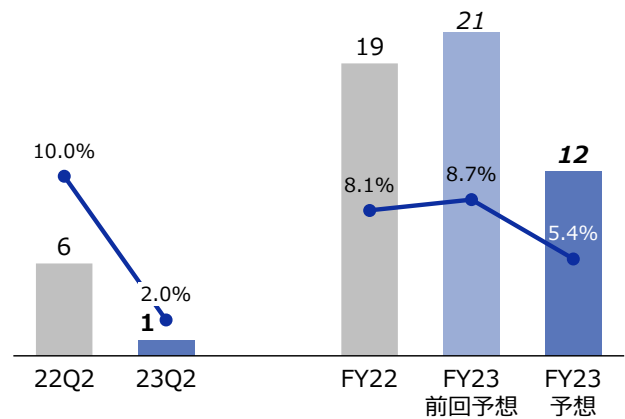
単位：億円

	22Q2	23Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>59</b>	<b>52</b>	<b>-12.1%</b>	<b>-13.4%</b>	<b>235</b>	<b>242</b>	<b>222</b>	<b>-5.5%</b>	<b>-6.8%</b>
米州	8	8	0.1%	-5.4%	38	38	37	-3.4%	-9.1%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	11	8	-24.2%	-27.2%	37	38	36	-2.4%	-5.0%
日本	40	36	-11.3%	-11.3%	160	167	149	-6.7%	-6.7%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>-82.0%</b>	-	<b>19</b>	<b>21</b>	<b>12</b>	<b>-36.9%</b>	-
<b>営業利益</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>-92.0%</b>	-	<b>18</b>	<b>21</b>	<b>13</b>	<b>-28.5%</b>	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

27

ニッセイ事業の第2四半期の売上収益は **52** 億円。  
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス13.4%となりました。

主に中国の市況悪化を受けた設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに販売が低調に推移し、減収となりました。

事業セグメント利益は、**1**億円。  
減収により、大幅な減益となりました。

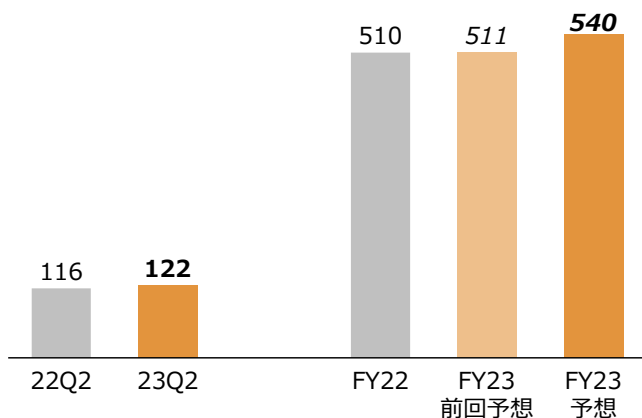
# パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

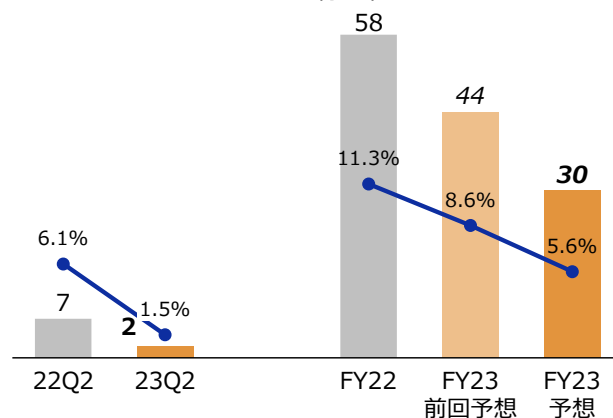
単位：億円

	22Q2	23Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>116</b>	<b>122</b>	<b>5.0%</b>	<b>-1.1%</b>	<b>510</b>	<b>511</b>	<b>540</b>	<b>5.9%</b>	<b>0.7%</b>
米州	77	77	0.1%	-4.7%	316	311	335	6.0%	0.8%
欧州	20	27	38.6%	23.0%	112	113	122	8.9%	1.1%
アジア他	14	12	-12.2%	-14.1%	52	56	54	2.6%	0.5%
日本	6	6	-2.3%	-2.3%	29	31	29	-1.2%	-1.2%
<b>事業セグメント利益</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>-73.7%</b>	<b>-</b>	<b>58</b>	<b>44</b>	<b>30</b>	<b>-48.1%</b>	<b>-</b>
<b>営業利益</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>-75.4%</b>	<b>-</b>	<b>59</b>	<b>44</b>	<b>30</b>	<b>-48.7%</b>	<b>-</b>

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

28

P&H事業の第2四半期の売上収益は **122** 億円、  
現地通貨ベースの伸び率では、マイナス 1.1%となりました。

米国を中心に市況が悪化したことにより、主に中高級機の販売が減少したものの、  
為替のプラス影響により増収となりました。

事業セグメント利益は、**2** 億円。  
中高級機の販売減少による製品ミックスの悪化や、  
販管費・販促費の増加により、大幅な減益となりました。

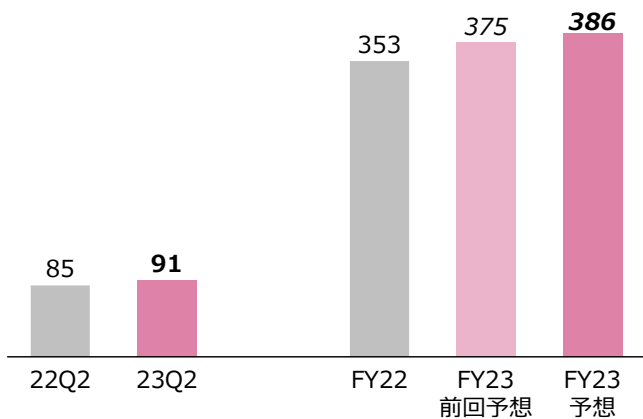
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

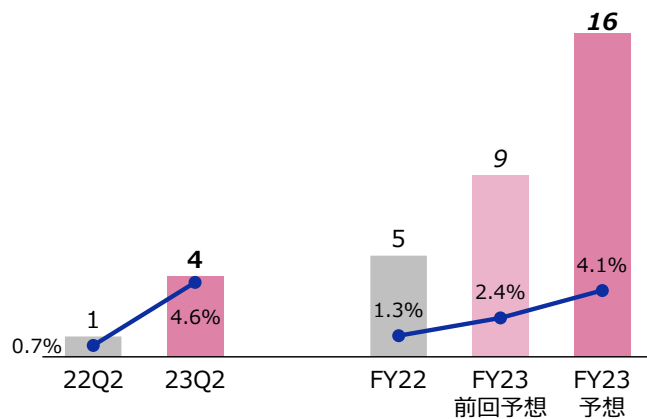
単位：億円

	22Q2	23Q2	増減率	FY22	FY23 前回予想	FY23予想	対前年 増減率
売上収益	85	91	6.9%	353	375	386	9.5%
事業セグメント利益	1	4	約7.4倍	5	9	16	約3.5倍
営業利益	2	5	約2.5倍	8	9	16	約2.0倍

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



© 2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

29

N&C事業の第2四半期の売上収益は **91** 億円。前年同期比 プラス 6.9%となりました。  
新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう客足の回復により、カラオケ店舗の売上が増加し、増収となりました。

事業セグメント利益は、**4**億円。  
増収により、増益となりました。

## ESGトピックス

P&S製品を生産するブラザーテクノロジー（深圳）が、ブラザーグループ初のRBAプラチナ認証を取得。RBA認証取得は、ブラザーインダストリーズ（ベトナム）でのゴールド取得に続く2拠点目

■ **ブラザーテクノロジー（深圳）において、RBAのプラチナ認証を取得**

- RBA（Responsible Business Alliance）は、加盟企業が持続可能なサプライチェーンの構築を通じ社会的責任を果たすことを目的とする世界的な団体
- ブラザーテクノロジー（深圳）は、プリンター・複合機を生産する拠点
- 監査項目である労働、安全、環境、倫理、サプライチェーン管理とそれらのマネジメントシステムにおける適正な管理が認められ、**最高得点である200点満点を獲得し、プラチナ認証を取得**



ブラザーテクノロジー（深圳）



RBA プラチナ認定証

■ **マテリアリティ「責任あるバリューチェーンの追求」に向けた、サステナビリティ目標の進捗**

<b>2024年度 目標</b>	<b>グループ製造拠点3拠点において、RBA ゴールド認証を取得</b>
<b>進捗</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2022年 ブラザーインダストリーズ（ベトナム）において、RBAゴールド認証を取得</li> <li>➢ <b>2023年 ブラザーテクノロジー（深圳）において、RBAプラチナ認証を取得</b></li> </ul> <p style="text-align: center;">残る1拠点においても、認定取得に向け活動中</p>

このたび、プリンター・複合機を生産する中国のブラザーテクノロジー（深圳）が、ブラザーグループで初となるRBAプラチナ認証を取得しました。

RBA認証の取得は、昨年度のブラザーインダストリーズ（ベトナム）でのゴールド認証に続き、ブラザーグループで2拠点目です。

今回は、監査項目である労働、安全、環境、倫理、サプライチェーン管理とそれらのマネジメントシステムにおける適正な管理が認められ、最高得点である200点満点を獲得しました。

ブラザーグループでは、5つのマテリアリティのひとつに「責任あるバリューチェーンの追求」を掲げ、2024年度目標を「RBAゴールド認証を取得したグループ製造拠点数を3拠点」としています。今回の認証取得で2拠点達成となり、残る1拠点についても認定取得に向け活動を進めています。

10月31日に、日本語版の「統合報告書2023」をWebサイトで公開。  
英語版は11月末に公開予定



表紙

## 注力コンテンツ

- 従業員によるビジョン座談会
- 機関投資家と社外取締役の座談会
- DX戦略や人材育成の活動など、人的資本の開示拡充
- 価値創造プロセス図の改定
- 事業ポートフォリオ変革に向けた、「産業用領域の飛躍」と「プリンティング領域の変容」の事例紹介



従業員によるビジョン座談会

URL : <https://global.brother/ja/sustainability/report-archive/bir>

10月31日に日本語版の「統合報告書2023」をWebサイトで公開しました。

統合報告書の発行は、今年で3年目となります。

今回、新企画として、ブラザーグループビジョン「At your side 2030」実現への取り組みを、従業員が未来志向で率直に語り合った「ビジョン座談会」を掲載しました。

また、「機関投資家と社外取締役の座談会」も新たに実施し、中期戦略「CS B2024」の進捗と課題、企業価値向上に向けた取り組みなどについての議論を掲載したほか、人的資本についての開示を拡充しました。

なお、英語版は2023年11月末に公開予定です。

ぜひご覧ください。



**brother**  
at your side

ビジネス領域		事業		分野（主な製品・サービス群）					
産業用領域	マシナリー・FA領域	ニッセイ		 <p>減速機 歯車</p>	 <p>工作機械</p>	 <p>工業用ミシン</p>			
		マシナリー	産業機器						
	産業用印刷領域		工業用ミシン	工業用ミシン	 <p>ガーメントプリンター</p>	 <p>コーディング・マーキング機器</p>	 <p>デジタル印刷機</p>		
		ドミノ							
民生用領域	プリンティング領域	P&S (プリンティング&ソリューションズ)	ラベリング	業務用ラベリング	 <p>業務用ラベルプリンター</p>	 <p>モバイルプリンター</p>	 <p>ラベルライター</p>	 <p>プリンター</p>	 <p>複合機</p>
			汎用ラベリング	汎用ラベリング					
	ホーム・カルチャー領域	通信・プリンティング		 <p>家庭用ミシン</p>	 <p>カッティングマシン</p>	 <p>通信カラオケ機器</p>			
		P&H (パーソナル&ホーム)							
		N&C (ネットワーク&コンテンツ)							